

宮崎大学大学院 医学獣医学総合研究科

医科学獣医科学専攻（修士課程）アドミッションポリシー

1. 教育理念（教育理念・目標、育成する人材像）

本専攻の使命は、生命科学の発展と社会の福祉の向上に寄与することです。各コースでは、以下を備えた人材を育成します。

1. 生命科学研究者育成コース

医学・獣医学領域の生命科学研究者や教育者として活躍することができる人材を養成する。また畜産関係者への教育により、修士修了後に、医学・獣医学の知識を持ち、科学的な思考で人獣共通感染症や口蹄疫などの感染症に対応し啓蒙活動ができる人材を育成する。

2. 高度医療関連技師養成コース

合理的、科学的な思考能力を有し、より高度で先進的な医療支援に携わることができる人材、また、該当医療支援領域における後進の教育・指導に当たることができる人材を養成する。

3. 生命倫理コーディネーターコース

最新の医事関連法や省庁の倫理指針、関連諸学会の倫理ガイドライン等に精通し、それらを迅速に研究の現場、臨床の現場へフィードバックするための知識と能力を身に付けた人材を養成する。

2. 入学者受け入れ方針（求める人材像）

本専攻は、医学と獣医学を融合した高度な研究活動を実践している本研究科博士課程への進学を視野に入れた教育研究を行うものであり、また、地域社会の要請に応える人材の輩出を考慮した教育研究を目指すものです。そして、本専攻での修学は、医学・獣医学分野及び医療社会学分野の研究と教育、あるいは高度な診療支援に携われる人材の養成を主眼としています。

したがって、本専攻では、次のような人材を求めています。

1. 生命科学研究者育成コース

将来、医学・獣医学領域の生命科学研究者としての道を志す農学、薬学（4年制）、理学、工学などの自然科学系学部卒業生、医療関連企業等で働く社会人及び畜産関係者。あるいは、社会学的側面から医学・獣医学領域生命科学の課題や医療に関する研究を志す人文社会科学系学部卒業生や畜産関係者。または、海外において6年制未満の課程を卒業した獣医学士。

2. 高度医療関連技師養成コース

医療系専門学校や4年制大学学部を卒業後、専門職業人として医療現場で医療支援の実務に携わっている社会人。あるいは、将来、医療支援の実務に携わりたいと考えている4年制大学学部卒業生。

3. 生命倫理コーディネーターコース

医療・福祉系の学部卒業生、農学・工学などの自然科学系学部卒業生、心理学、社会学、教育学、哲学、法学などの人文社会科学系学部卒業生など、幅広いバックグラウンドを持つ学部卒業生及び、臨床心理士や医療・看護・福祉関連の資格を有し実務経験と問題意識のある社会人。

3. 入学者選抜の基本方針

1. 求める学生像に沿って、受験者のアカデミックバックグラウンドやキャリアを参考にしつつ、受験者が希望する研究テーマや目標さらに本修士課程修了後に目指すもの等を考慮し、総合的に選抜します。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜します